

「介護の日」関連イベント[県老人福祉施設協議会の取り組み]

－ 介護現場からのメッセージ －

介護フォトコンテストかごしま

～支える手、支えてもらう想い、支え合うところ～

介護の職場は社会的に3K職場と扱われる風潮も垣間見え、人材確保に苦慮する事業者も少なくはありません。そこで、

- 介護を通じたふれあい、介護の醍醐味を振り返り現場で働く人に介護の魅力を再確認して頂く、
- 老後を心配されている方、介護をされている家族、これから介護をされるご家族に現場から介護の魅力を発信することを目的に、第1回「介護フォトコンテストかごしま」を実施しました。



県内61施設から225枚の応募を頂き、11月12日(土)イオン鹿児島ショッピングセンター(1F風の広場)で、パネル展と投票による全作品の審査会を開催したところ、千名を超える方々がご来場くださり、7百件に及ぶ投票を頂きました。

来場者は写真を丁寧に見入り、サービスを利用されている母親を探すお子様、笑顔が素晴らしいと感激される方、亡き母親を思い出したと涙する方もおられ、「来年もまた開催してください」とエールを頂きました。

今回、一般の方への介護現場の理解を主たる目的としておりましたが、私達が逆に、人の優しさ、温かさ、そして素晴らしい仕事をさせていただいていることを再認識させられました。

[県授産施設協議会からのお知らせ]

鹿児島県下初の「山の駅・物産館」型の障がい者就労支援施設

『おじゃったモールさつま川内館』が オープンしました！

「社会福祉法人ウイズ福祉会」(薩摩川内市入来町)の第二事業所として、障がい者就労支援施設『おじゃったモールさつま川内館』が11月19日(土)にオープンしました。

就労支援施設としての産直市場型物産館の運営への取り組みは鹿児島県下では初めてであり、各方面の期待と注目を集めています。

なお、この施設に使われている材木は全て鹿児島県産で、設計にあたっては国の伝統的建造物群保存地区にも指定されている入来麓武家屋敷をイメージした現代和風の形で、周りの田園地帯の景観とマッチしています。(かごしま木づかい推進事業を活用)

当館は国道328号線沿いの入来日の丸交差点(川内市街地・さつま町方面等が交差)に近く、車の往来も比較的多い場所にあり、安心・安全で新鮮な産地消型商品の品揃えを充実させた店内には、連日たくさんの方々が訪れ、施設で働く障がい者と地域の皆様との交流も深まっています。



鹿児島県授産施設協議会では支援・協力のもと、館内に特設コーナーを設けて頂き、12の会員施設が展示・販売しています。



薩摩川内市入来町浦之名7100-1
TEL:0996-21-4055 FAX:0996-44-2005